

## 1月のピックアップコーナー

### 『人権』

小笠原 祥子

世界人権宣言は1948年(昭和23年)12月10日、国際連合の第3回総会で採択されました。その日を記念し国際連合は、毎年12月10日を「人権デー」として、加盟国などに人権尊重思想の啓発のための行事を実施するよう呼びかけています。日本では、1949年(昭和24年)から、法務省と全国人権擁護委員連合会が、世界人権宣言が採択されたことを記念して、毎年12月4日から10日までを「人権週間」と定め、人権尊重思想の普及高揚を図るための啓発活動を全国的に展開しています。

「第60回人権週間」(平成20年度)では、啓発活動重点目標は「《世界人権宣言60周年》育てよう一人一人の人権意識一思いやりの心・かけがえのない命を大切に」です。強調事項は次の16事項です。「女性の人権を守ろう」「子どもの人権を守ろう」「高齢者を大切に作る心を育てよう」「障害のある人の完全参加と平等を実現しよう」「部落差別をなくそう」「アイヌの人々に対する理解を深めよう」「外国人の人権を尊重しよう」「HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見をなくそう」「刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう」「犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう」「インターネットを悪用した人権侵害は止めよう」「ホームレスに対する偏見をなくそう」「性的指向を理由とする差別をなくそう」「性同一性障害を理由とする差別をなくそう」「北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう」「人身取引をなくそう」

図書館でも12月から1月のピックアップコーナーで人権に関連する図書の展示を行っていますので、是非ご利用ください。

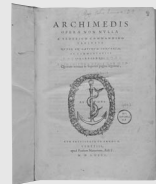
おがさわら しょうこ(課長・情報サービス課)

### 本誌の表紙に使われた貴重書

*Opera non nulla Venetiis, 1558*

アルキメデス 『著作集』

ARCHIMEDIS



アルキメデス(前287?-前212)は、ギリシャの数学者、物理学者、天文学者で、シチリア島シラクサに生まれた科学史上まれに見る大天才です。アレクサンドリアに留学して、そこで地理学者エラトステネス、天文学者コノン、ドシテオネスなどと親交を結びました。浮力の原理の発見に関しては面白い話が伝えられています。シラクサ王ヒエロン二世から王冠の金の純度を確かめるよう依頼され、その方法を考えながら入浴した際、体が湯に浸かった分だけ浴槽から湯が溢れ出るのを見て考えがひらめき、喜びのあまり「エウレーカ(見つけた)!!」と叫びながら裸のまま外へ飛び出して行ったというものです。

本書は、彼の業績中5つの代表的な作品が、ウルビーノ生まれの著名な数学者フェデーリコ・コンマンディーノによって、原文のギリシャ語からラテン語に翻訳されたものであり、1558年ヴェネツィアのアルド印刷所から出版されました。

アルド印刷所は1494年に学術出版の祖と言われているアルド・マヌーツィオによって設立されて以来、1598年まで100年以上も続いているイタリアで最も名高い印刷所の一つです。商標には「錨とイルカ」のデザインが用いられており、ヨーロッパ印刷史上で最も有名な商標とさえ言われています。

また、訳者のコンマンディーノは、数多くの古代ギリシャの科学書をラテン語に翻訳したばかりでなく、その著書『時計について』などによってその名が知られています。『著作集』の内容については、『円の測定』などアルキメデスの著作のラテン語訳に、コンマンディーノ自身の手による注釈も添えられています。アルキメデスの『円の測定』は3つの命題から成っており、その中で第3の命題は円周率 $\pi$ の近似値を求めています。この $\pi$ の値は現在でも実用性の高い十分な精度を保っています。

原寸 29.0×20.1cm

『洋書百選』(1972年本学図書館刊行)より抜粋、加筆